

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NEXT STEP			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 4月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様との連携	・TEACCHプログラムに掲げられている「保護者との協力」を強化することを目標に、事業所からも保護者に発信する情報はとて多くしています。また、学校にも積極的に関与し、事業所だけでなく関係機関を巻き込んだ療育を展開出来るように心がけています。	・まだまだ教育機関への理解が少ないところや、協力が得られていないご家庭もある中で、まわりから理解や関心を得られる方法を模索していきます。
2	・活動プログラムの構成と内容	・当事業所では児童一人ひとりに合わせた個別療育と、グループで行う小集団療育、みんなで楽しむイベントの大きく分けて3種類の療育を展開しています。また、それぞれの種類の中でも毎月違う活動を計画しているため、子どもたちも楽しみながら療育に参加することが出来ています。	・活動の種類によっては児童からの好き嫌いが分かれることもあるため、苦手なことにも興味を持たせる工夫をしています。また、祝日や長期休みのイベントなどもマンネリ化をしないように同じ場所に行っても活動の趣旨を変えるなどの工夫をしています。
3	・空間の構造化	・TEACCHプログラムに則って、場所（空間）、時間、行動（活動）を構造化（視覚）しています。子どもたちが、今自分はどこにいて、何をするのかを自発的に考えることが出来る訓練をする環境が整っています。	・構造化する環境は整っていますが、建物の構造上音の反響が大きく、気になる児童もいます。イヤーマフを増やす、防音シートを貼るなどの工夫も検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニング	・ペアレントトレーニングを実施するための知識を有した職員が不在のため	・ペアレントトレーニングをするための研修を職員で受講することや外部講師を呼ぶこと、町主催の研修に参加する方法を検討していきます。
2	・アセスメントツール	・各職員の私見からのアセスメントとなっており、共通のアセスメントツールがないため	・現在アセスメントツールを作成中です。幅広い分野でアセスメントがとれるようなアセスメントツールを作っています。
3	・地域の同年代の子との交流	・付近の事業所や大学との交流はあるが、子ども園等との協力した行事を計画していなかったため	・長期休み期間など、子ども園と一緒に行う行事を計画していきます。